

# 広い館内を 没入感ある演出で活用



画像はイメージです

## Point 1 一台でも大画面投写を実現

ユーザー  
メリット

展示空間を最大限に活用

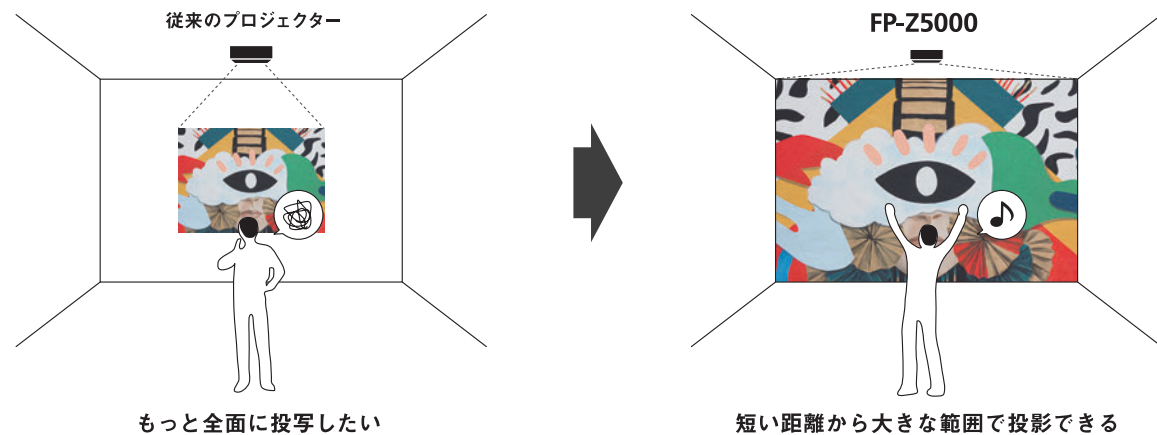
支える機能

超短焦点

FP-Z5000は、投写距離227cmで300インチの大型投写ができます。

通常、投写範囲を大きくとるためには、対象箇所からプロジェクターの設置位置までの距離を長くとることが必要になりますが、FP-Z5000なら、とても短い距離から大型の投影範囲を確保することができます。

つまり、これまで変更不可能だった場所(天井や床、柱など)にも、大きな範囲で投影することが容易になるため、来場者に没入感を演出することにもつながります。



## Point 2 美術館の雰囲気を損なわないプロジェクター

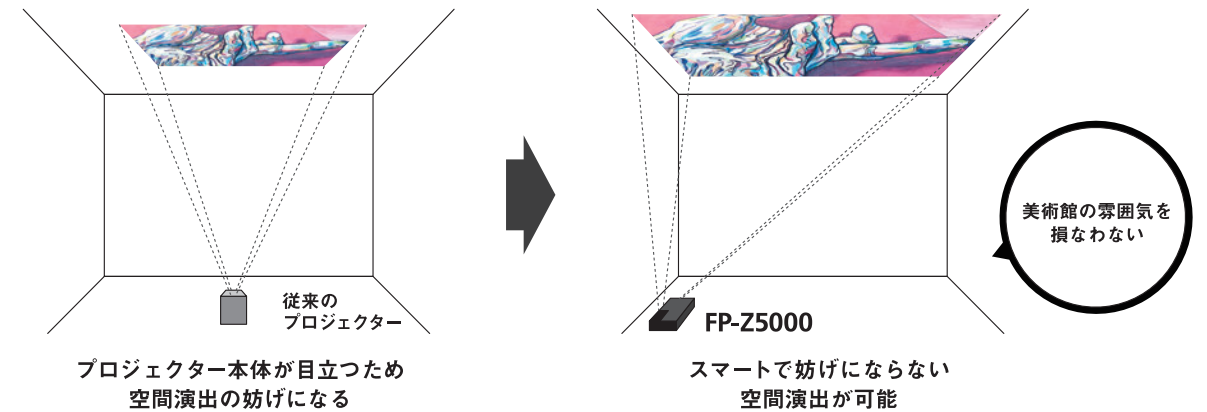
ユーザー  
メリット

ゲストの目に触れないようにプロジェクター  
本体を空間の隅に設置する事が可能

支える機能

2軸回転機構レンズ  
クラス最大級のシフト範囲

FP-Z5000は、2軸回転機構レンズにより、床や天井、壁など任意の面に同じ設置位置から、投写することができます。これはレンズ軸とマウント軸の回転する機能により可能になった投写方法です。また、これに加えて超短焦点かつクラス最大級のシフト範囲をもつからこそ、プロジェクター設置位置に自由度が高まり、ゲストの目に留まりにくい位置に設置することが可能になりました。



## Point 3 展示物と組み合わせた映像演出にも

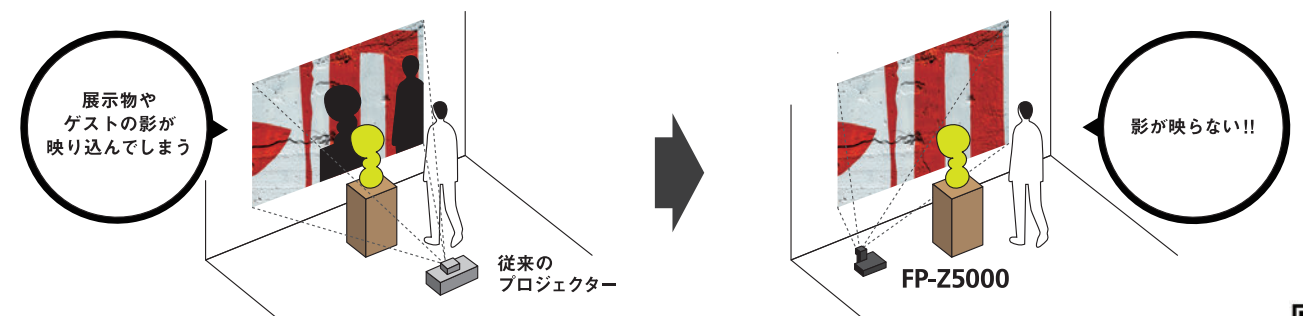
ユーザー  
メリット

影の映り込みを抑制、  
演出の邪魔をしない

支える機能

クラス最大級のシフト範囲、超短焦点

FP-Z5000は、クラス最大級のシフト範囲をもつため、ゲストの影の映り込みを抑制した映像演出が可能になります。通常であれば作品とプロジェクターの間にゲストが立ち作品を鑑賞することになるため、作品に近づけば近づくほどゲストの影が投写範囲に入り込みます。つまり結果的に演出を活かせないため導入効果が見込みづらくなります。しかし、FP-Z5000のシフト範囲と超短焦点レンズはその問題を解決します。



詳しい製品の特長はこちら

